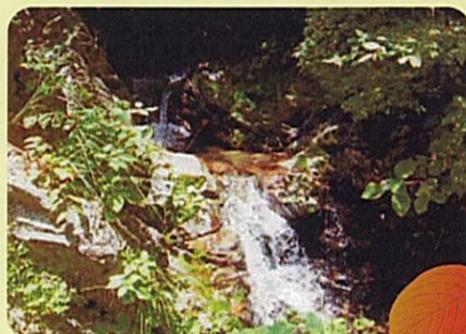


太田川の源流へ
遠州森町の伝統的な街並みを抜け、山あいを北東に登って行く太田川。街から車で15分程走ると切り立った巨大空間のダム工事現場が目に見え込んできます。
むかう源流はここからまだ車で30分、そして歩くこと30分余。真っ青な空と山の緑、大自然の澄み切った空気に降り注ぐ太陽の光。ここで、大自然の素晴らしきコントラストにお目に掛かれます。そして、透き通った清流がきらきらと輝き、せせらぎの音が迎えてくれました。
是非、一緒においしそうなお水を見に行きませんか？
〈袋井市 鈴木信弘〉

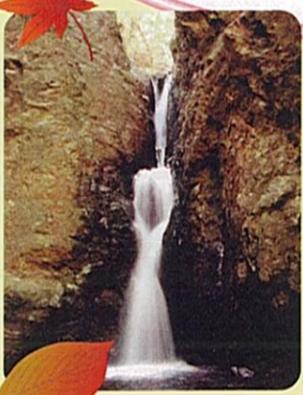
上流域を訪ねてみませんか？
今回の「てくてく太田川」のテーマは「上流域」。雄大な下流域の流れや人々の生活に溶け込む中流域を見て、その川の流れを探ってみたいと考えました。



杉沢の大滝を探索
豊かな森から湧き出る水の恩恵に生きる私達。今はいかにしては多少の心配もありますが...
近年は猛暑と水不足が直撃しパニックに陥る。その時初めて流域の人々は水源地に思いを巡らす。「水はどこから生まれるの?」「水は誰が守るの?」今建設中の太田川ダムが頭に浮かぶ。
杉沢の大滝は森林の保水を集め、巨大な岩盤を二つに割って流れ落ちていきます。その姿は神秘的で魅力があります。絶壁に立つ巨木もその根を岩に沿わせ、地中深く差し込み水を求めて生育しています。
太田川の上流域にはまだまだ沢山の滝が存在していますので、次回は別の滝を探索して参ります。
〈豊田町 松下三郎〉

太田川情報編集局とは...

「太田川を知ること・見ること、互いに知り合うこと、情報を共有することで、太田川水系に関わる人のつながりをつくらう」という袋井土木事務所の呼びかけにより、昨年より活動しています。「てくてく太田川」の誌面づくりを中心に、流域に根ざした暮らし、光景など様々なコト、モノ、ヒトを見つけ出し、広くみなさんに伝えていきます。



上流域取材の参加者を募集します。

太田川情報編集局では太田川の源流、自然、歴史・文化を取材し「てくてく太田川」第3号を発行する予定です。晩秋の一日、私たちといっしょに歩いて、観て、太田川を満喫してみませんか?
開催日時・集合場所:11月28日(日)午前9時 アクティ森(森町問詰)
※集合場所からの移動はマイクロバス、午前9時出発～午後2時頃解散
募集定員:各コース10名程度

- 1 源流コース:太田川源流・金剛院(昼食)・太田川ダム・友田家**
ウォーキングで源流を探索。自然観察指導員からいろいろな話が聞けます。
◎歩く距離一約4km、林道なので歩きやすい靴で。 ◎持ち物一昼食、水筒、帽子、手袋、タオルなど
- 2 歴史コース:金剛院・大丸様(昼食)・太田川ダム・友田家・日月神社**
杉櫨の美林、澄んだ空気、金剛院で聞く自然との共存の法話、友田家の見学。歴史と癒しの旅です。
◎歩く距離一約3km ◎持ち物一昼食、水筒、メモ帳など
- 3 自然コース:棕地・タイラ沢(昼食)・明ヶ島キャンプ場**
美しい棕地川の渓谷に沿ってタイラ沢の大滝まで、秋の清幽な自然を訪ね歩きます。
◎歩く距離一約9km(健脚コース)
◎持ち物一昼食、水筒、帽子、タオル、ウォーキングに適した靴
ファックス、はがき、メールに氏名・住所・電話番号・年齢・性別・希望コースを記入して申し込んでください。
問い合わせ・申し込み先 太田川情報編集局(袋井土木事務所内) ※連絡先は裏面下段を参照ください。
申し込み締め切り 11月18日(木)必着 ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます、当選者には11月22日までに通知致します。

流域紹介 森町



ふるさとの逸品紹介

次郎柿

森町の名産として毎年皇室にも献上されている「次郎柿」は、今から160年前前に松本次郎と言う人が裏庭に植えたのが始まりだと伝えられて、今でもその原木が森町の栄町にあつて、県の天然記念物に指定されています。
柿の色づく頃、一度訪れてみてください。生産者の方のお話では、今年のような猛暑は柿の出来が良く、秋は是非、味わってみたいと思つています。
〈磐田市 大杉修次〉



てくてく名所・旧跡探訪

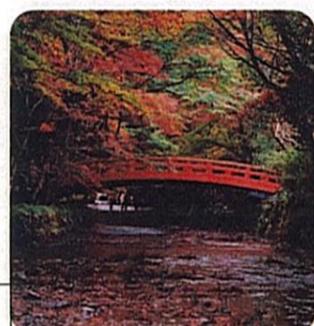
日月神社(森町鍛冶島)



日月と書いて「じつげつ」と読みます。正確な創立時期は不明ですが、棟札に記されている最古のものは文禄5年(1596年)とされています。境内には樹齢500年、目通り5mの老杉がそびえ立ち、歴史の重みが伝わってくるようです。
神社の南側の小川では、毎年夏になるとたくさんの方々が観ることができ、静かな山あいに太田川のせせらぎの音と爽やかな光が調和した、幻想的な雰囲気を感じさせます。
「交通」秋葉バス吉川線
「日月神社前」下車。
徒歩3分。
〈袋井土木事務所 石田安秀〉

おすすめ! 紅葉スポット 小国神社

赤黄緑の色鮮やかな紅葉が見られる小国神社の約千本のもみじは2回見頃があるのをご存じですか? 少し大きめの葉が11月中旬から色づき、落葉する12月初めに次の小葉の野紅葉が盛りを迎えます。
川に落下した姿も朝昼晩と微妙に色を変化させる様子も、ピーターの多い所以、境内を流れる宮川沿いの紅葉の中や、一周2キロの遊歩道を美しい空気を吸いながら散策するのもお勧め。この時期フットコンテストも実施されます。
〈袋井市 鈴木敦子〉
小林賢二氏撮影



お知らせ

緊急防災会議 太田川の水害対策を考える

日時:平成16年11月14日(日)13時~
場所:袋井市立中央公民館(袋井市高尾754-1)
内容:異常気象についての講演(静岡地方気象台長)、防災関係者によるパネルディスカッション
主催:静岡県・太田川流域9市町村
問い合わせ先:袋井土木事務所企画検査課 0538-42-3216

もりもり2万人まつり&農協祭

日時:平成16年11月21日(日)予定
場所:JA遠州中央農協森町支店・森の市農産物直販所
内容:ステージイベント、産品展示販売、もち投げなど
主催:森町産業祭りもりもり2万人まつり &農協祭実行委員会
問い合わせ先:森町商工観光課 0538-85-2111



「子どもたちに川の素晴らしさを伝えたい」をテーマに実施しているこのイベント。「たくさん魚を発見したよ」「水がきれいだったので冷たかったよ」、昔自分が川遊びをしたこと、今純粋に感じている子どもたちがそこにいたことで、参加してくれた子どもたちが川への関心、愛着を深めてもらえた事を実感しています。
〈袋井土木事務所 神谷 悠〉



今年も「川発見隊」が出發しました!!

ご意見、ご感想をお送りください。また、太田川水系の川に関する情報もあわせて募集します。太田川情報編集局事務局まで。

太田川情報編集局



青島 勝、安間美恵子、上原恒雄、上原英子、大石佳典、大杉修次、大杉知子、斉藤直美、鈴木和男、鈴木昌子、鈴木ふみ子、福井亨治(以上磐田市)、池野眞市、北島金三、門名親宏、下川恭子、下川紗、鈴木信弘、鈴木敦子、山本龍雄、渡瀬 備(以上袋井市)、池田久仁子、大石光泰、大庭 幸、鈴木隆之、寺田美枝、寺田英之(以上福田町)、浦上治男、岡野良隆、西森啓八、平田克彦(以上森町)、松下三郎(豊田町)

発行:平成16年11月1日
静岡県袋井土木事務所
〒437-0042 袋井市山名町2番の1
Tel(0538)42-3289 Fax(0538)43-0919
Eメール fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/
編集:太田川情報編集局
(事務局:袋井土木事務所河川改良課内)